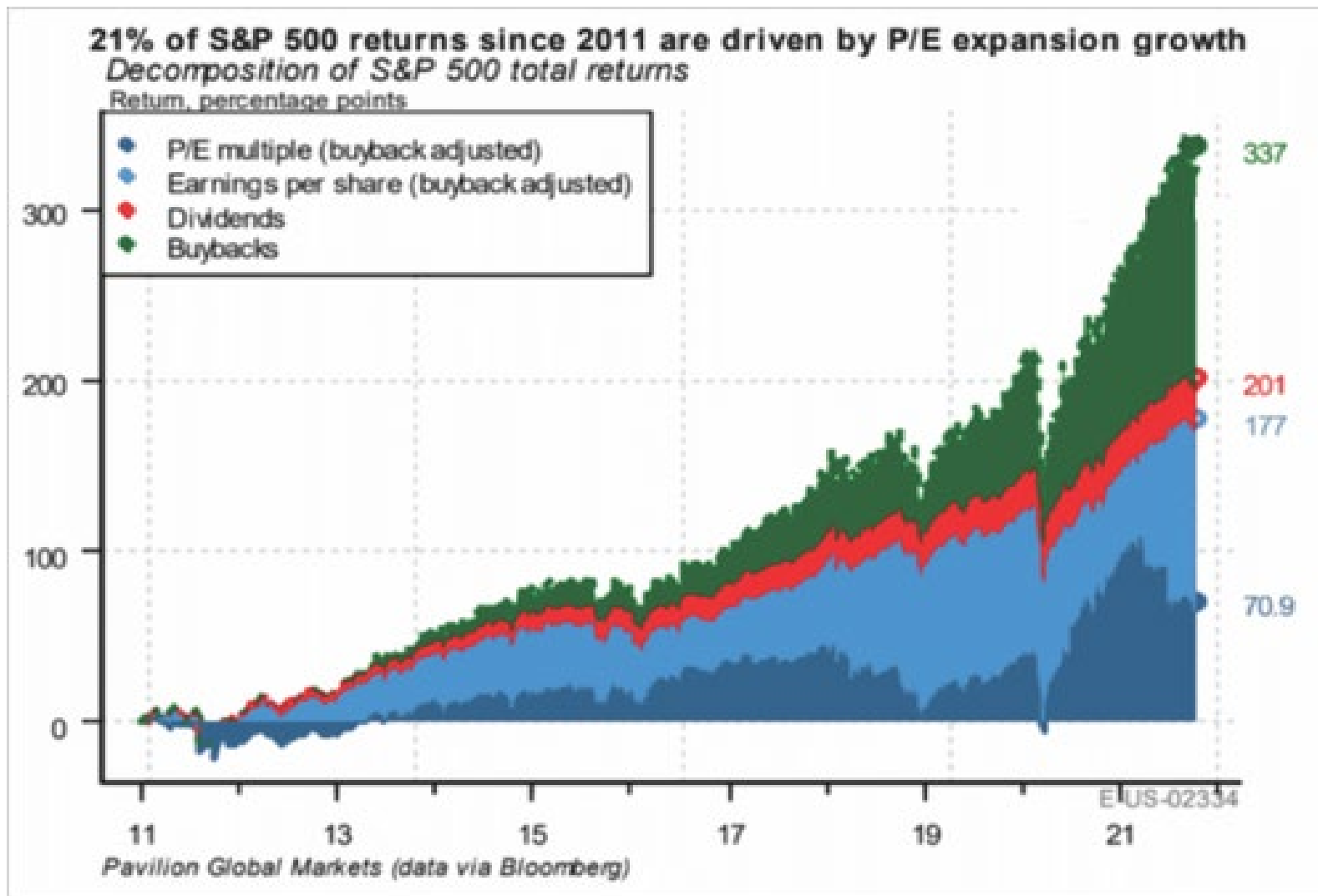


アップル (週足)



過去 10 年間の自社株買いが市場に与えた影響： 40.5%が自社株買いによるもの



2020年3月以降にあった多くの追い風が、今後は逆風になることだ。重要なのは、不経済な自社株買いを行った企業は、財務上の損失、負債の増加、将来の成長機会の減少に直面することである。株価上昇に賭ける投資家にとって最も大きなリスクは、FRBではない。むしろ、「自社株買い」の逆転現象である。

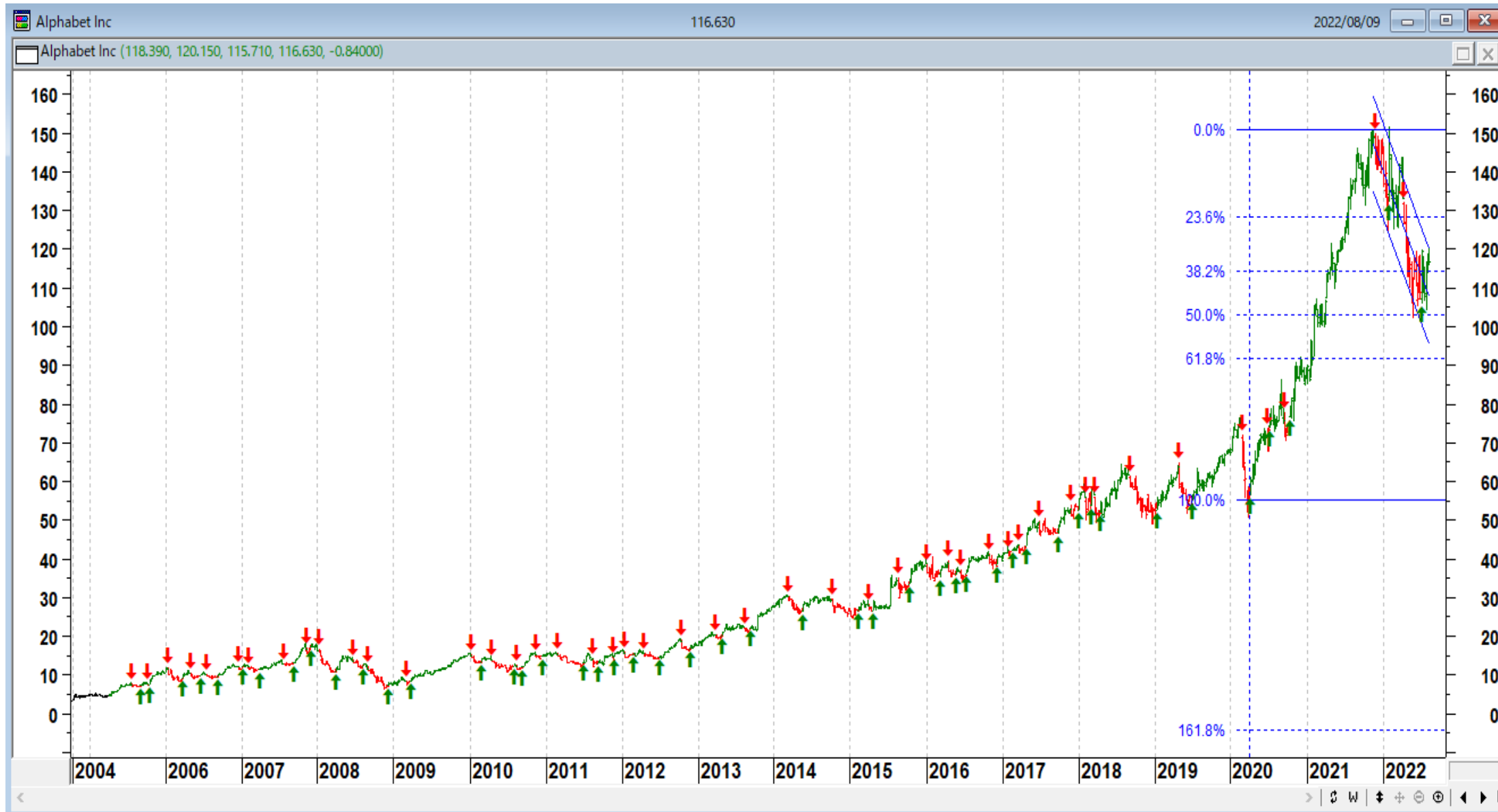
マイクロソフト (週足)



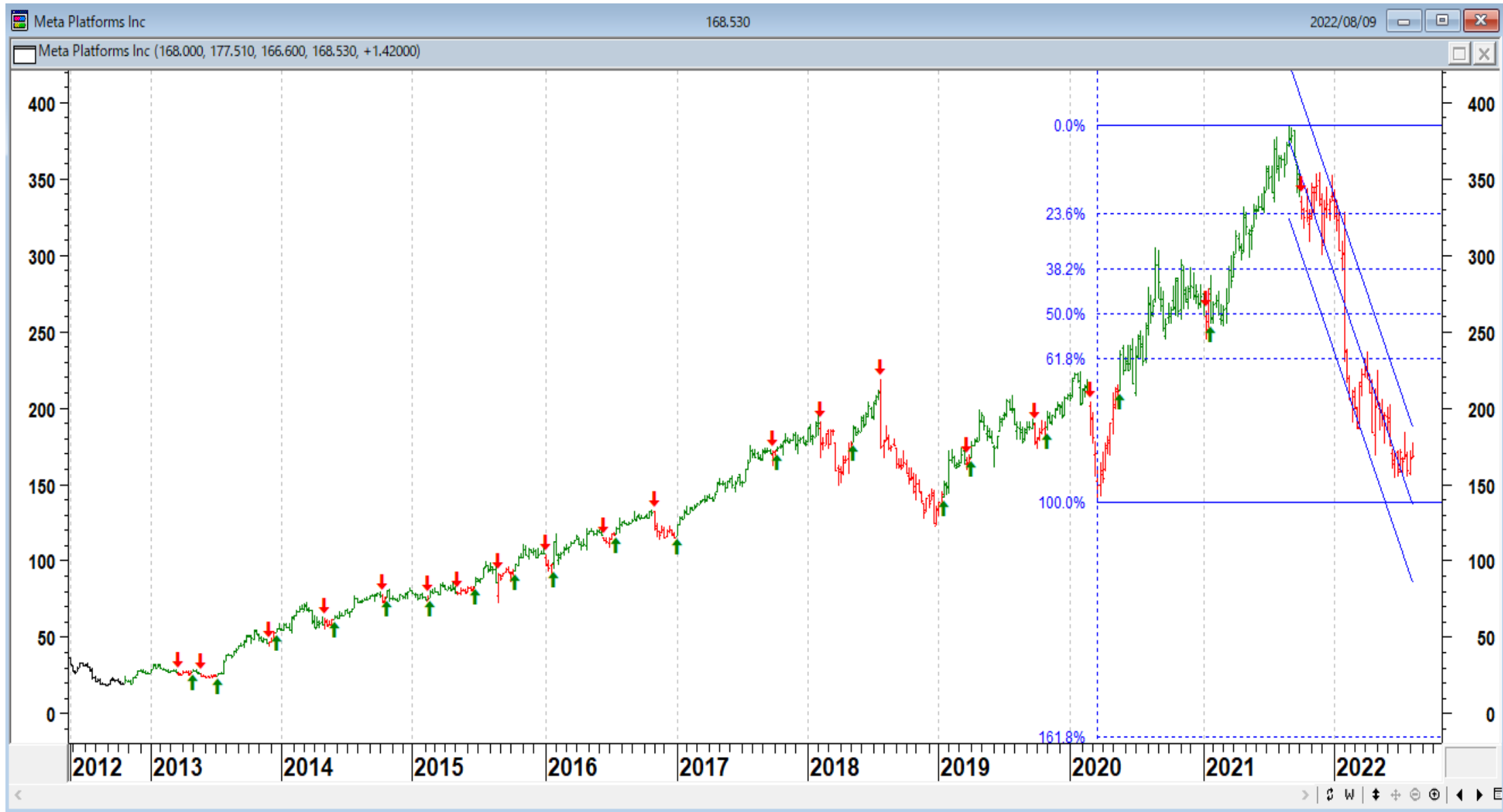
アマゾン (週足)



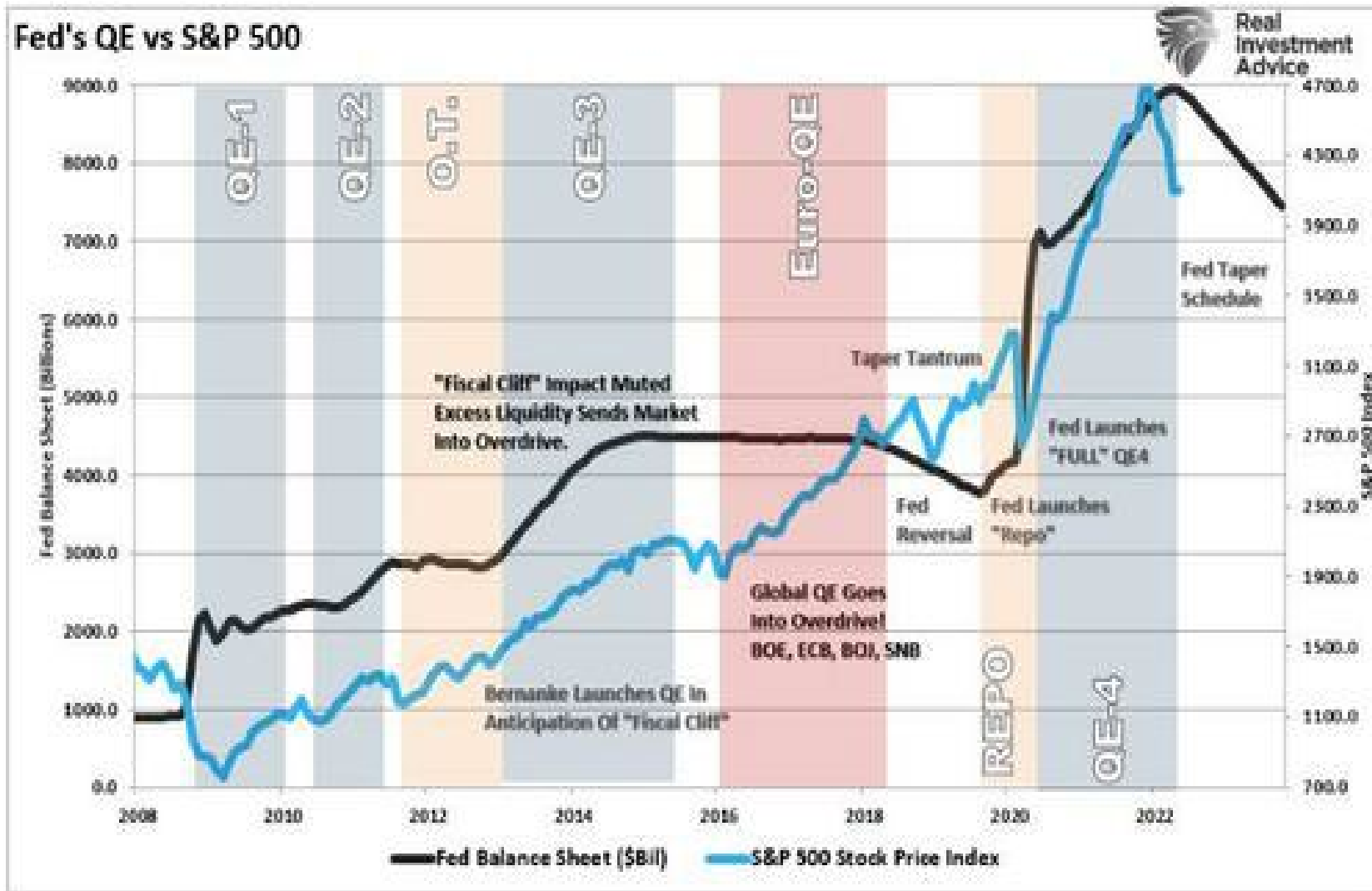
アルファベット (週足)



メタプラットフォームズ (週足)



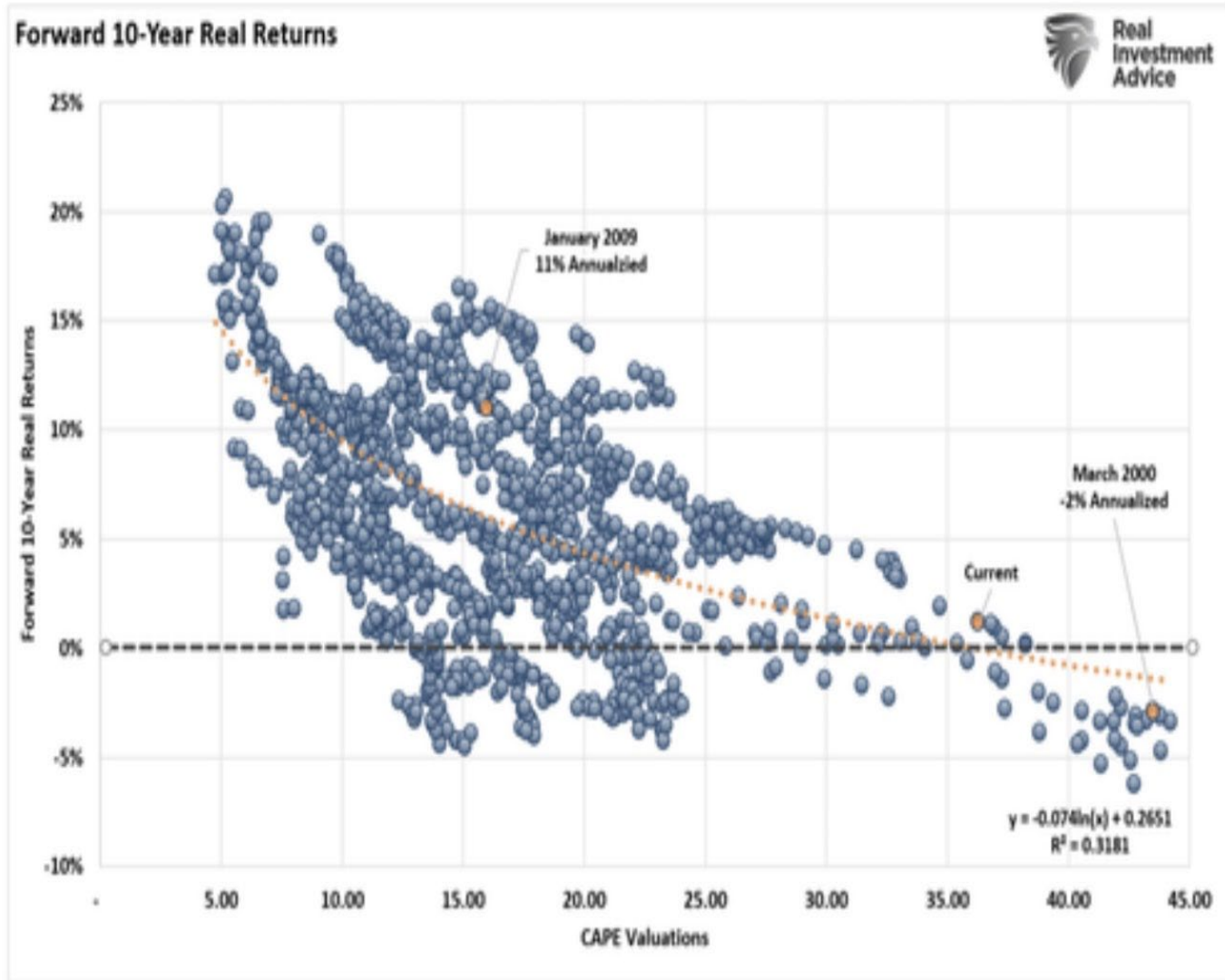
連銀の総資産・QEとS&P500の推移



すべての市場の下落は、米連銀（FED）のバランスシートの縮小または一時停止と一致しているように見える。何百万人も投資家の判断によって動かされているはずの市場が、毎月同じことを繰り返しているのは市場ではない。それは国家管理相場という実行中のプログラムであり、軌道上を走るだけだ。

出所：リアルインベストメントアドバイス

今、全力で買うと・・・

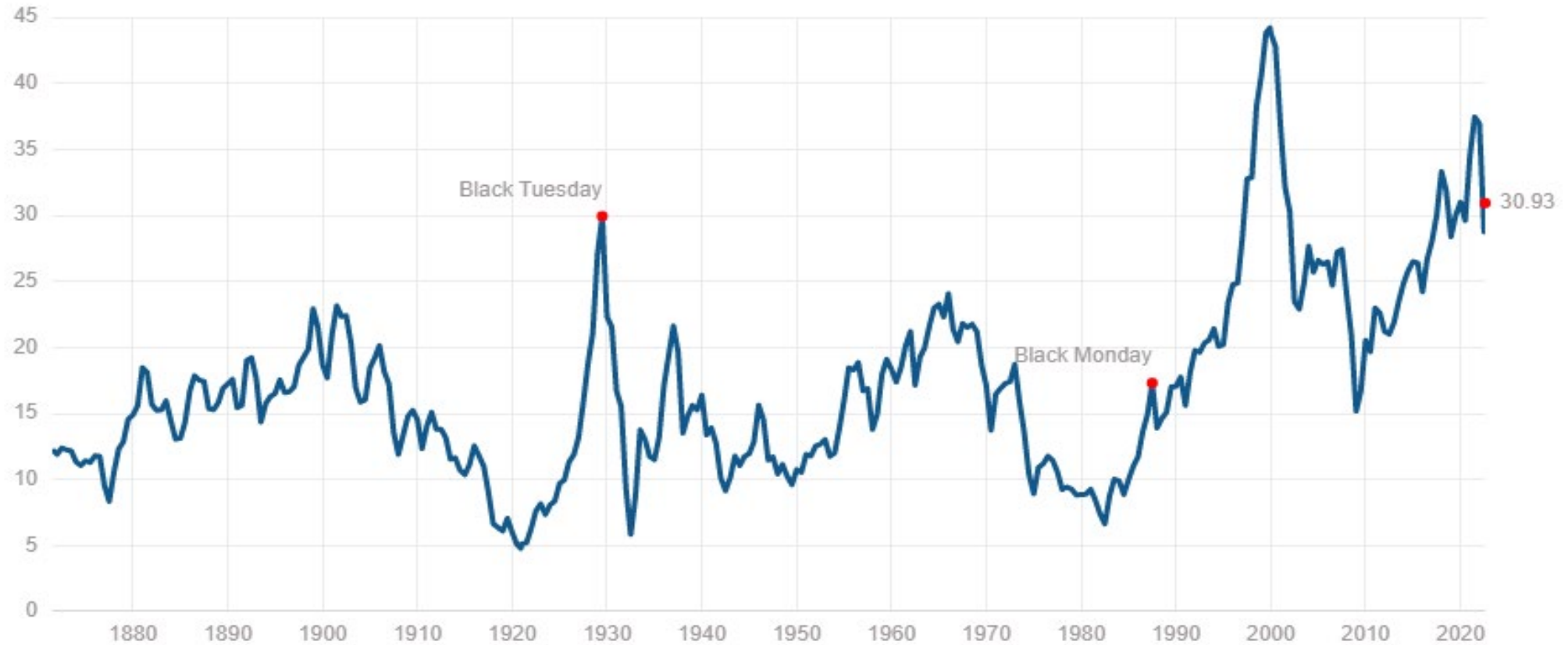


CAPE（景気循環調整後の株価収益率）が35倍ということは、今後10年のリターンは期待はずれになる可能性がある。

歴史上、10年間のリターンがマイナスになった時期が複数ある。「バイアンドホールド」投資はうまくいくが、それは投資を始める時期（タイミング）によるのである。

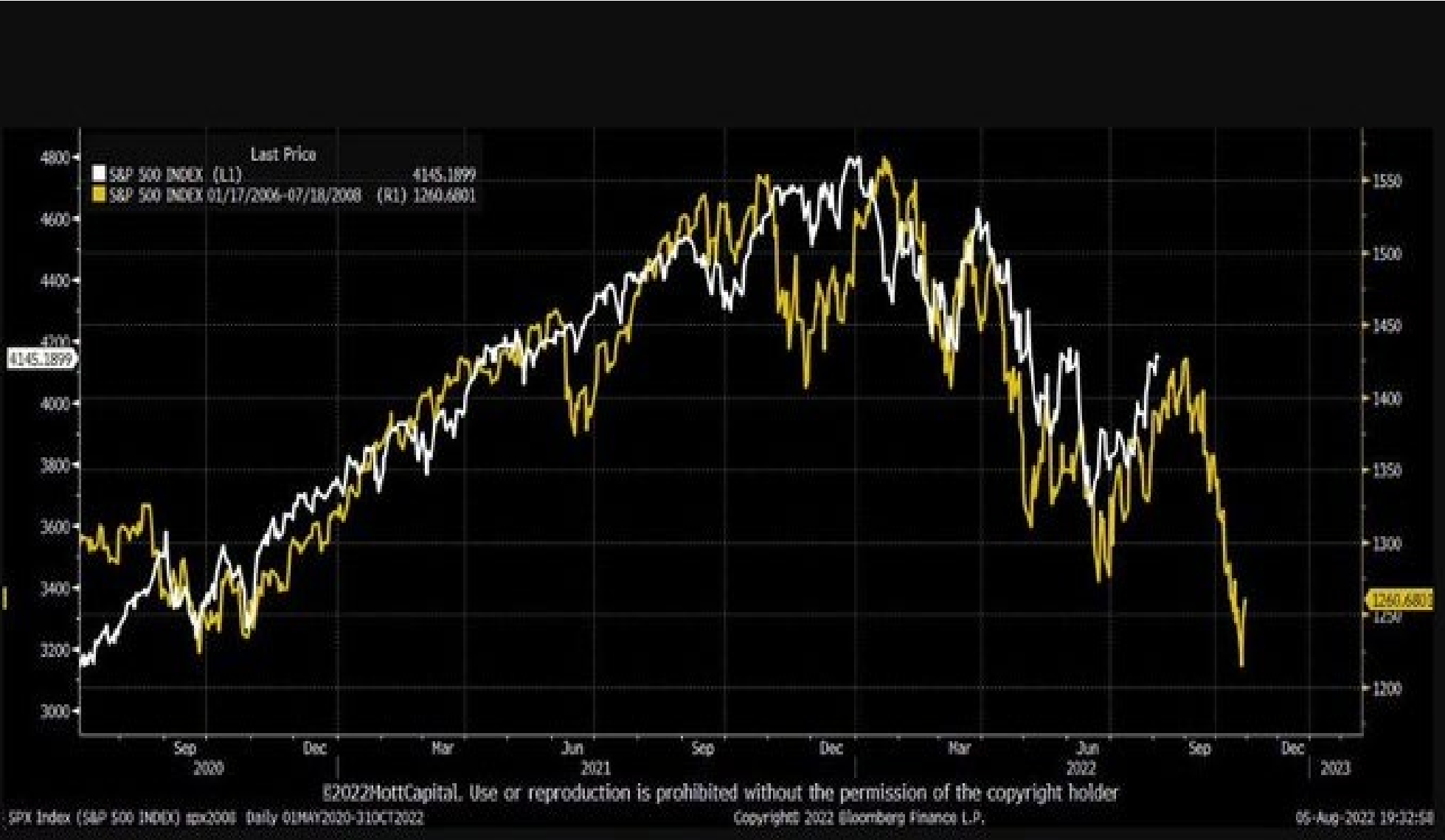
シラーPERは28まで落ちて今31倍

Shiller PE Ratio



出所 : [multpl.com](https://www.multpl.com)

SP500の現在と2008年の対比（アナログモデル）

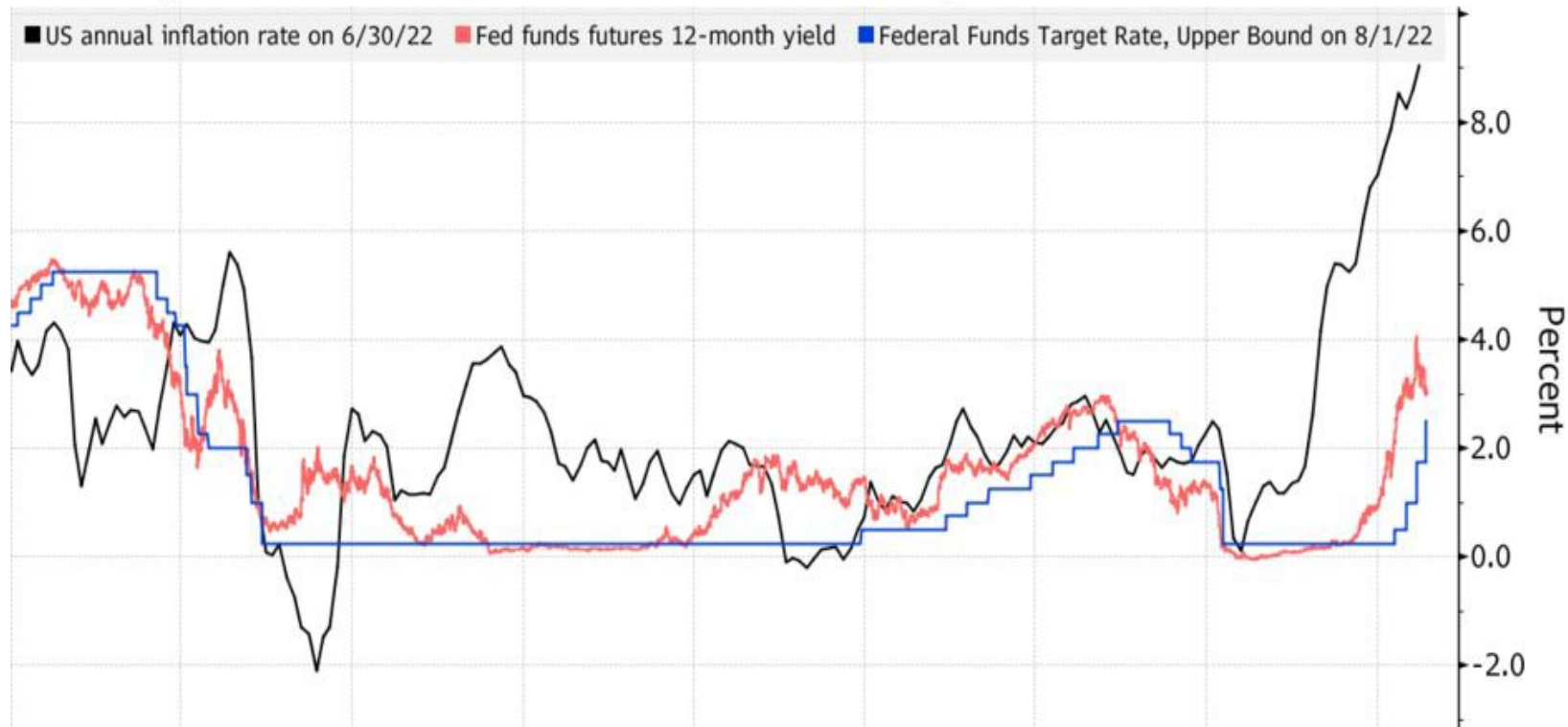


出所：ブルームバーグ

中央銀行はタカ派的姿勢を弱めると市場は見ているが、 世界のコスト圧力が高まったままになるリスクは高い！？

Peak Risk

Markets priced for inflation to come back down very fast



2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

Source: BLS, CME, Federal Reserve

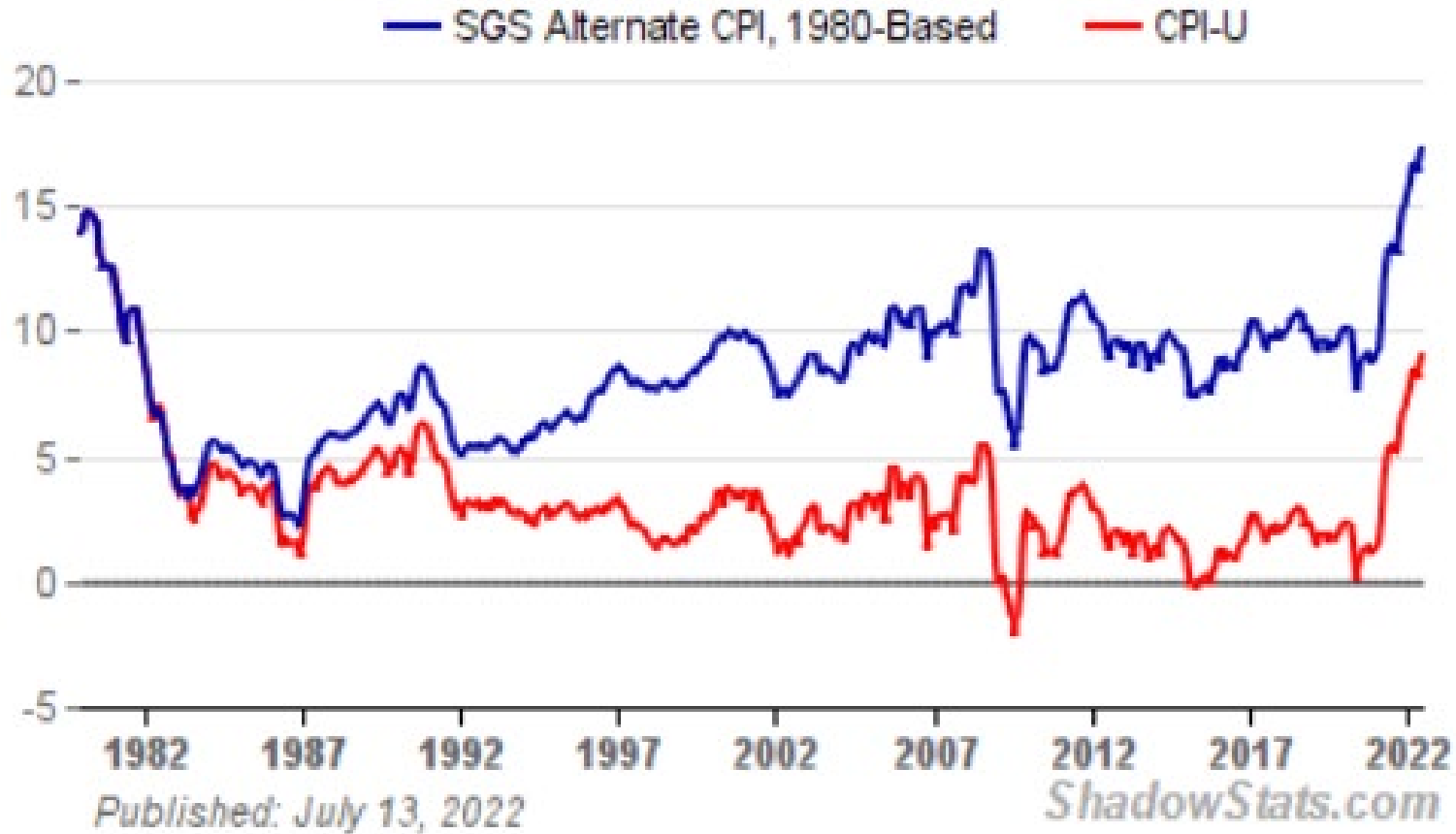
Bloomberg

出所：ゼロヘッジ

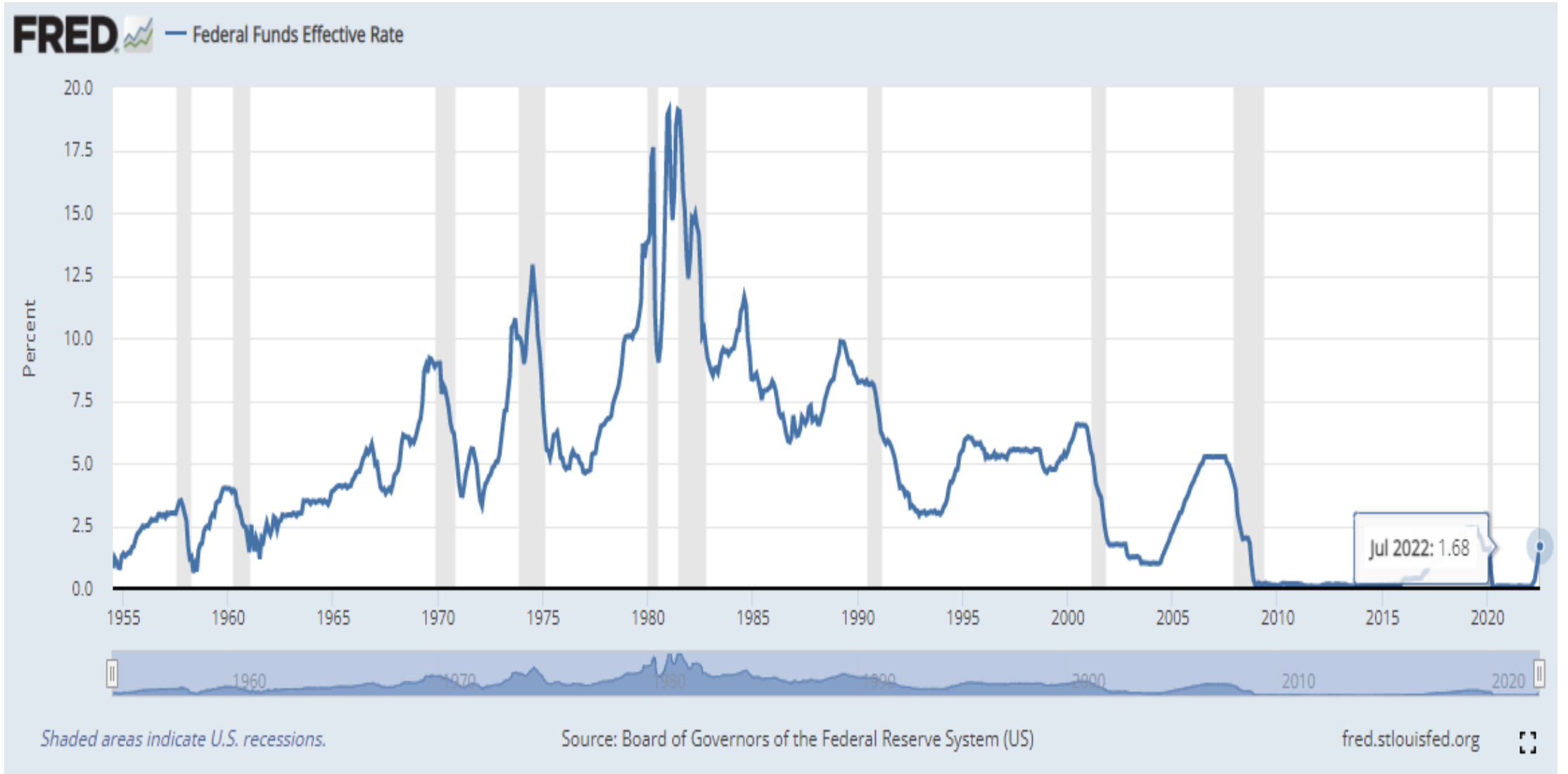
米国の表のCPIと裏のCPI

米国の現実のインフレ率は2倍?

Consumer Inflation - Official vs ShadowStats (1980-Based) Alternate
Year to Year Change. Through June 2022



米国のFF金利の推移



出所：セントルイス連銀

NY原油CFD（日足） 景気後退の兆候？



出所：MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

ゴールドCFD (日足)



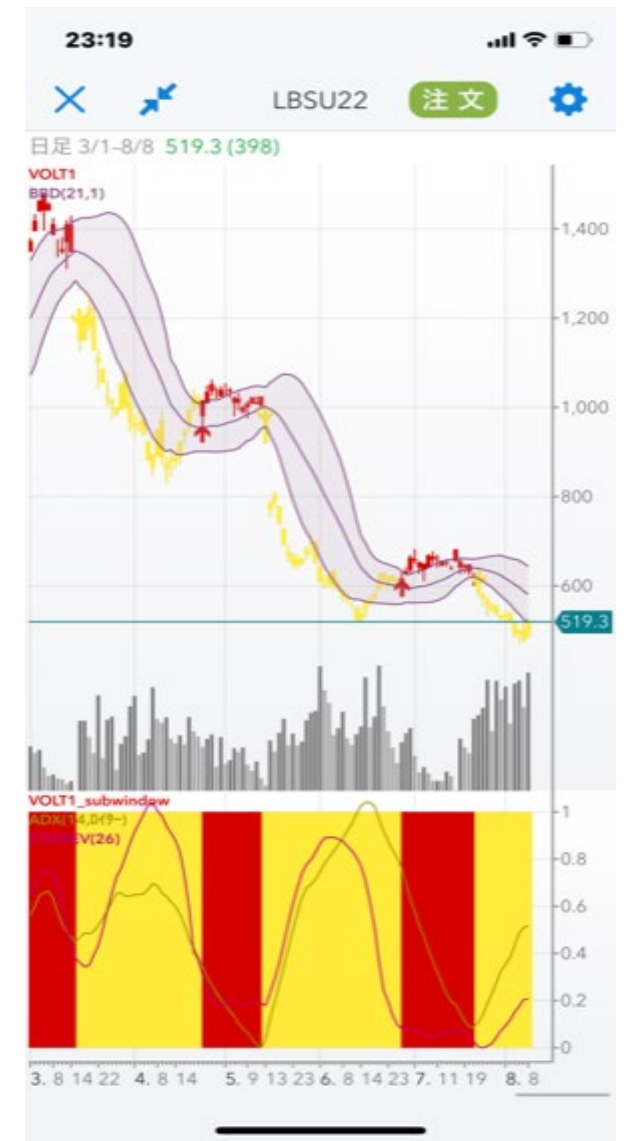
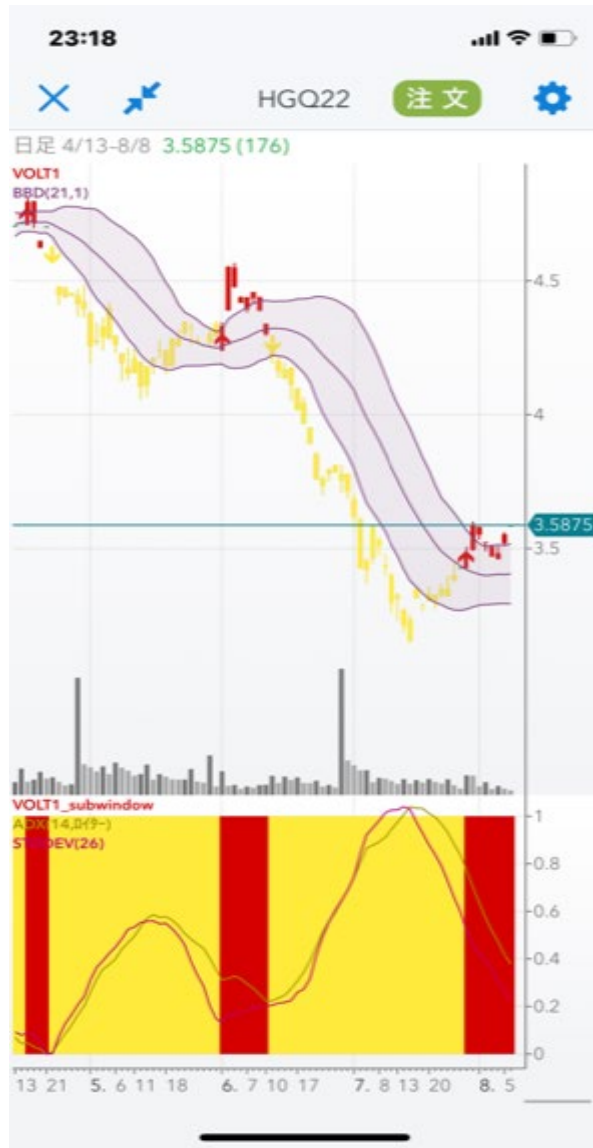
出所：MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

大豆先物・小麦先物・天然ガス先物の日足



出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

銅先物・ゴールド先物・木材先物の日足

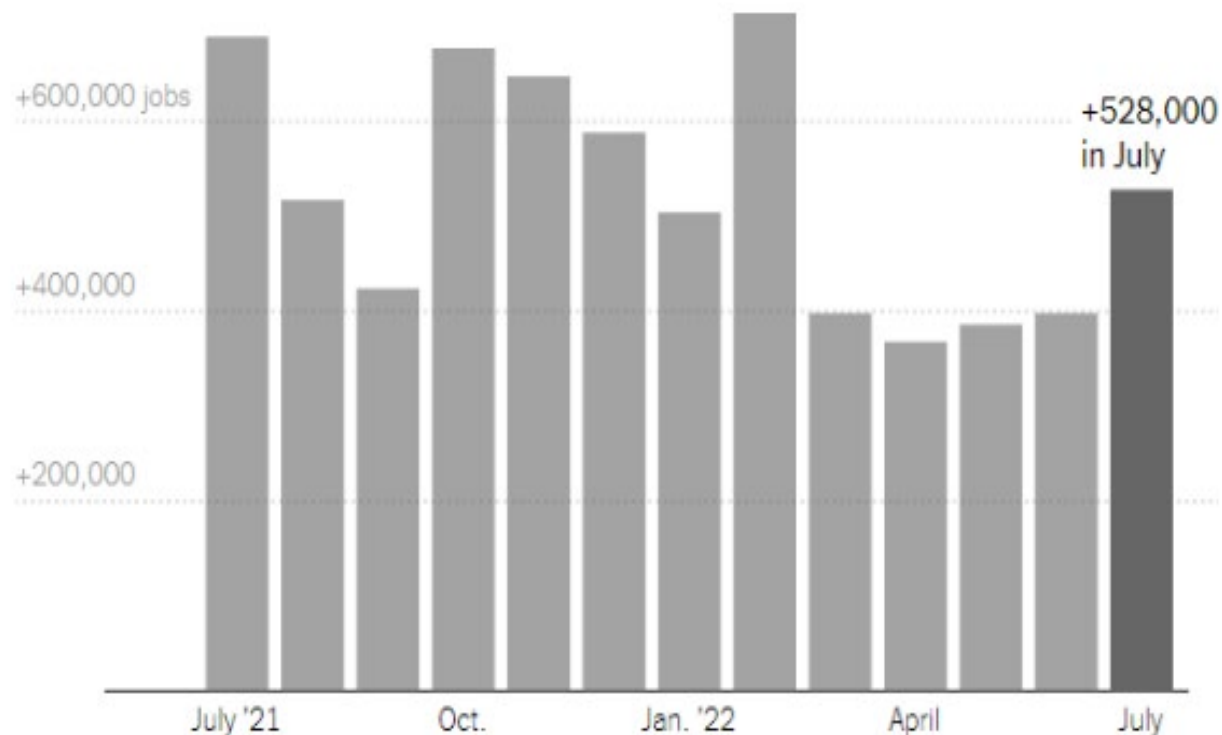


出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

非農業部門の雇用者数は 1 か月で 528,000 増加、失業率は 3.5%

U.S. jobs report shows a gain of 528,000 in July. 

Monthly change in jobs

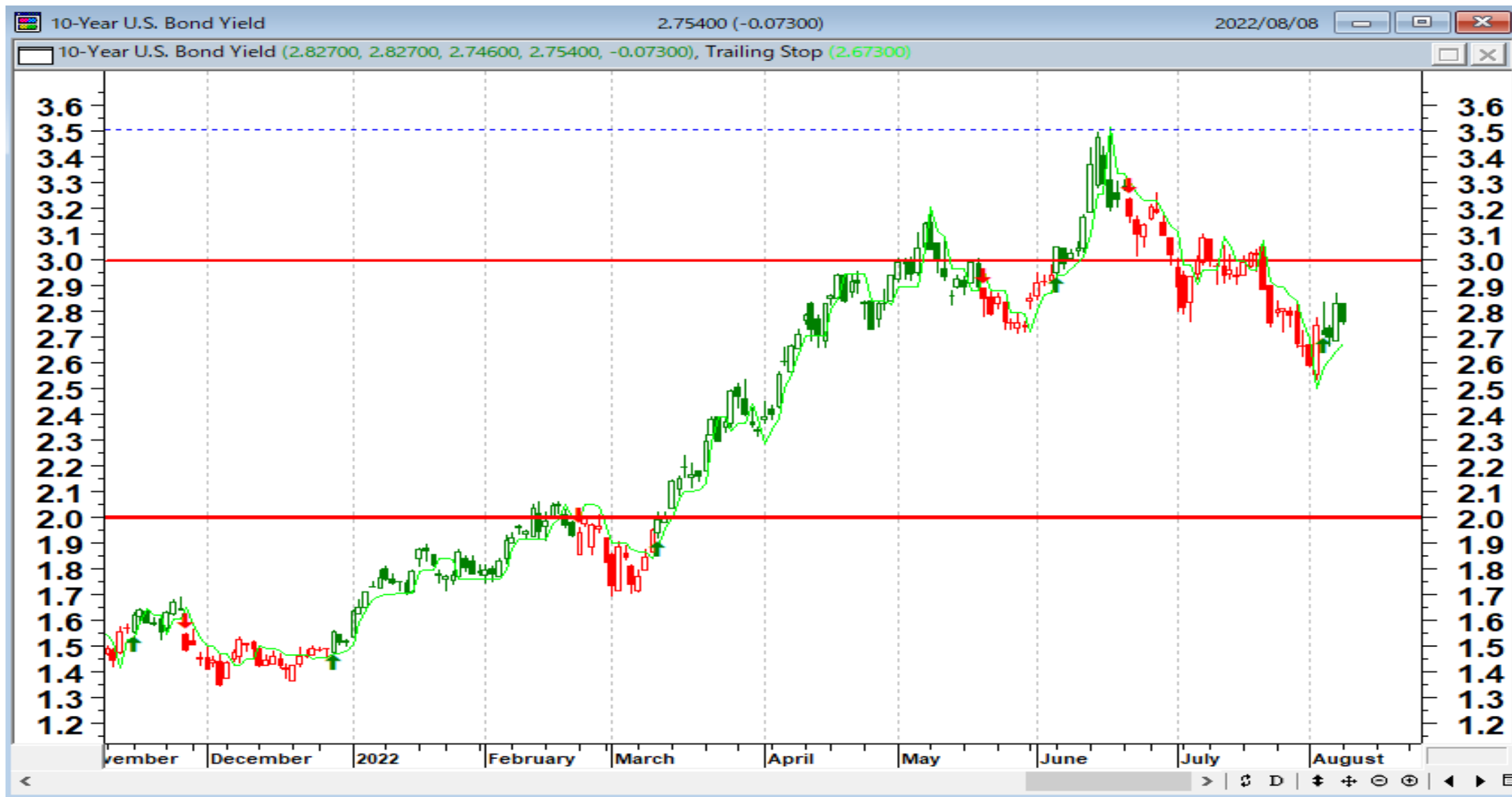


Data is seasonally adjusted. • Source: Bureau of Labor Statistics

労働力参加率が 62.1 に低下した 7 月の 528K の増加は、新しい仕事のほとんどがすでに仕事を持っている人々に移ったことを意味します。実質賃金の崩壊により、多くの労働者は月明かりの下で請求書を支払うことを余儀なくされています。労働市場が強ければ、1 つの仕事で十分でしょう。

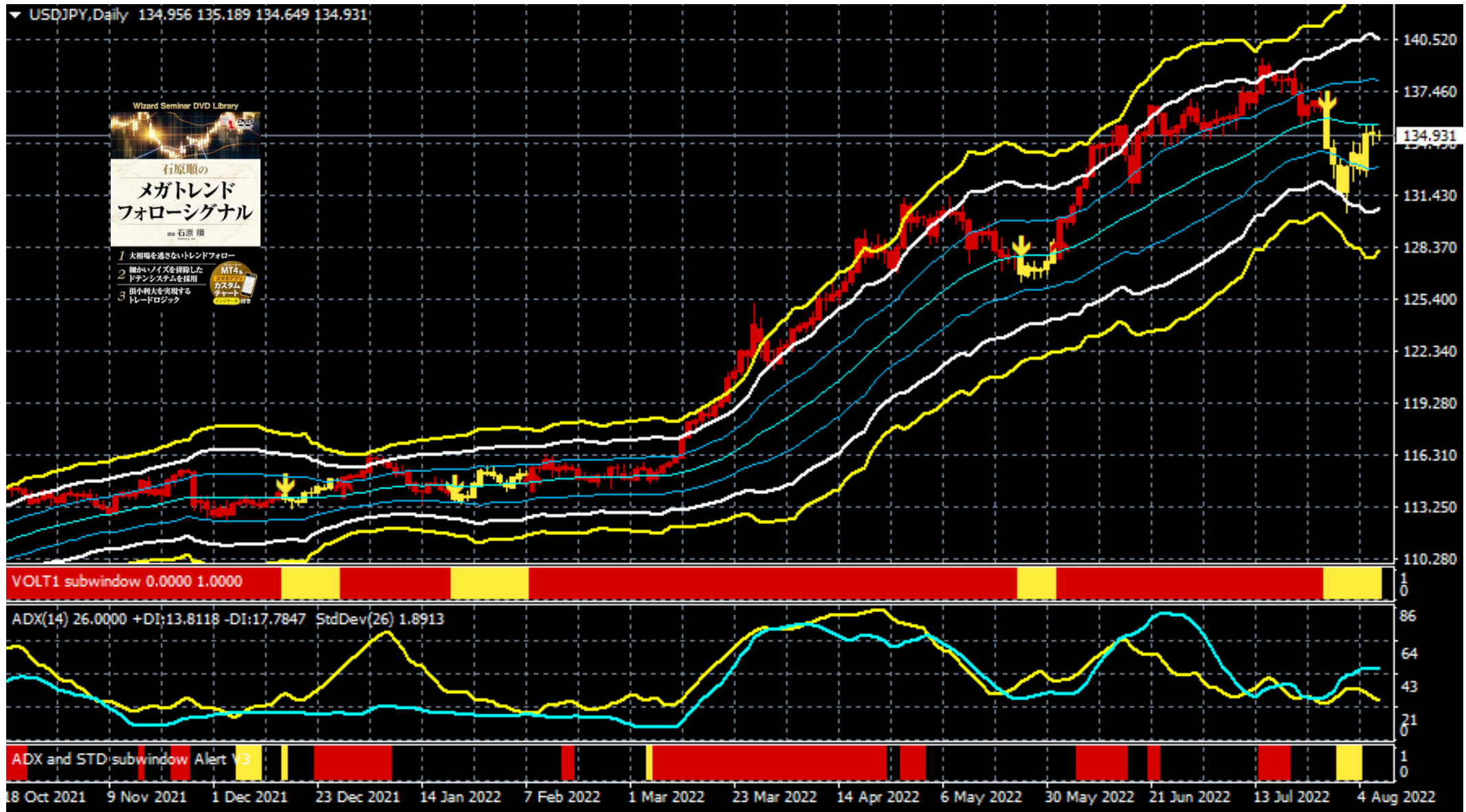
(ピーター・シフ)

米10年国債金利（日足）



出所：筆者作成

ドル/円 (日足)



出所：MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

NY連銀発表のインフレ期待値の低下

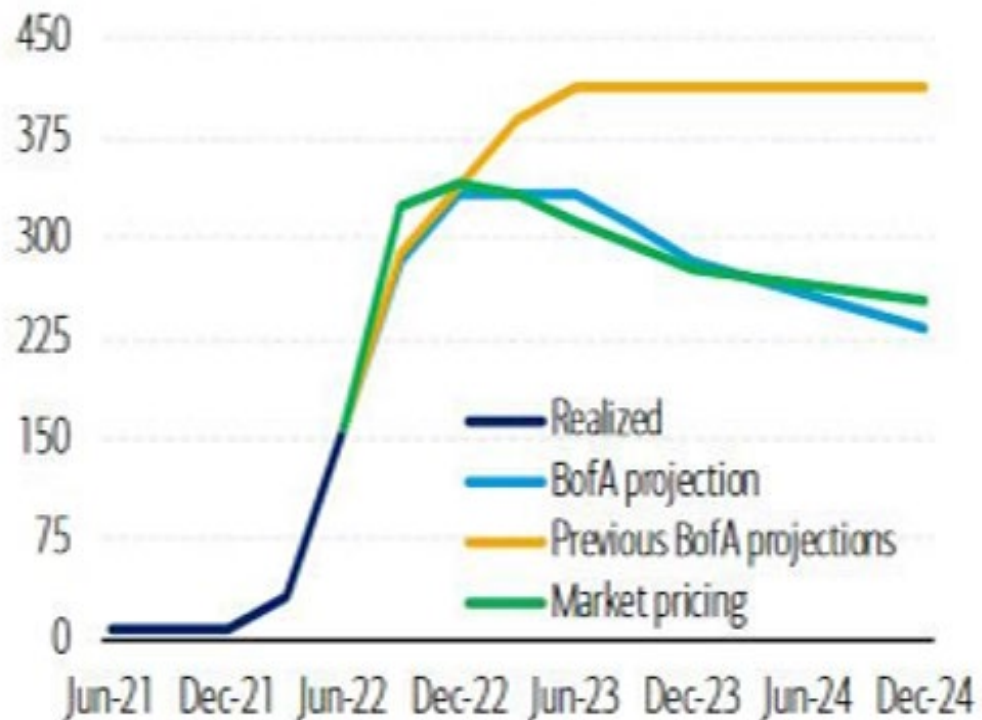


1年先のインフレ期待値は7月に6.22%に低下。2月以来の最低値 - 前月の6.78%から、ガスと食品の前年の価格上昇に対する期待が急激に低下したため、過去最大の月次下落となった。同時に、3年先のインフレ期待値の中央値も3.62%から3.18%に低下し、2021年4月以来の低水準となった。

利上げとQT（量的引き締め）は早期に終了！？

Exhibit 2: Fed fund rate projections (bps)

We revised down our Fed fund rate path and forecast cuts starting in '23



Source: BofA Global Research, Bloomberg

Exhibit 5: Updated Fed balance sheet projections (\$bn)

A rate cut in '23 would likely mean a higher terminal Fed balance sheet



Source: BofA Global Research, Bloomberg

米国株の強気派は、「米中間選挙の日程をにらみ、FRBが今年のジャクソンホールシンポジウム（8月25日～27日）の前後で不況に向かっていることを認め、市場は2022年の年末に利下げを開始する」というシナリオに乗っている。2022年の年末か2023年の初頭に利下げが行われ、そのあとは世界的な景気後退をうけて、またQE5が行われるというのだ。QE5の前には当然利下げがあるだろうが、そこは株式市場が反騰しても大底ではないだろう。いずれにせよ、2008年の世界金融危機（リーマンショック）以降の株式市場は、FED（連銀）によるプログラム売買の結果である。



石原順（西山孝四郎） @ishiharajun · 7月5日

FRBは9月に方針転換との見方浮上、株式相場の救世主になる可能性 - Bloomberg

例のジャクソンホールシナリオ

大荒れの米株式相場に落ち着きをもたらすのは、わずか数回先の米連邦公開市場委員会（FOMC）会合になるかもしれない。



bloomberg.co.jp

FRBは9月に方針転換との見方浮上、株式相場の救世主になる可能... 大荒れの米株式相場に落ち着きをもたらすのは、わずか数回先の米連邦公開市場委員会（FOMC）会合になるかもしれない。クリステ...



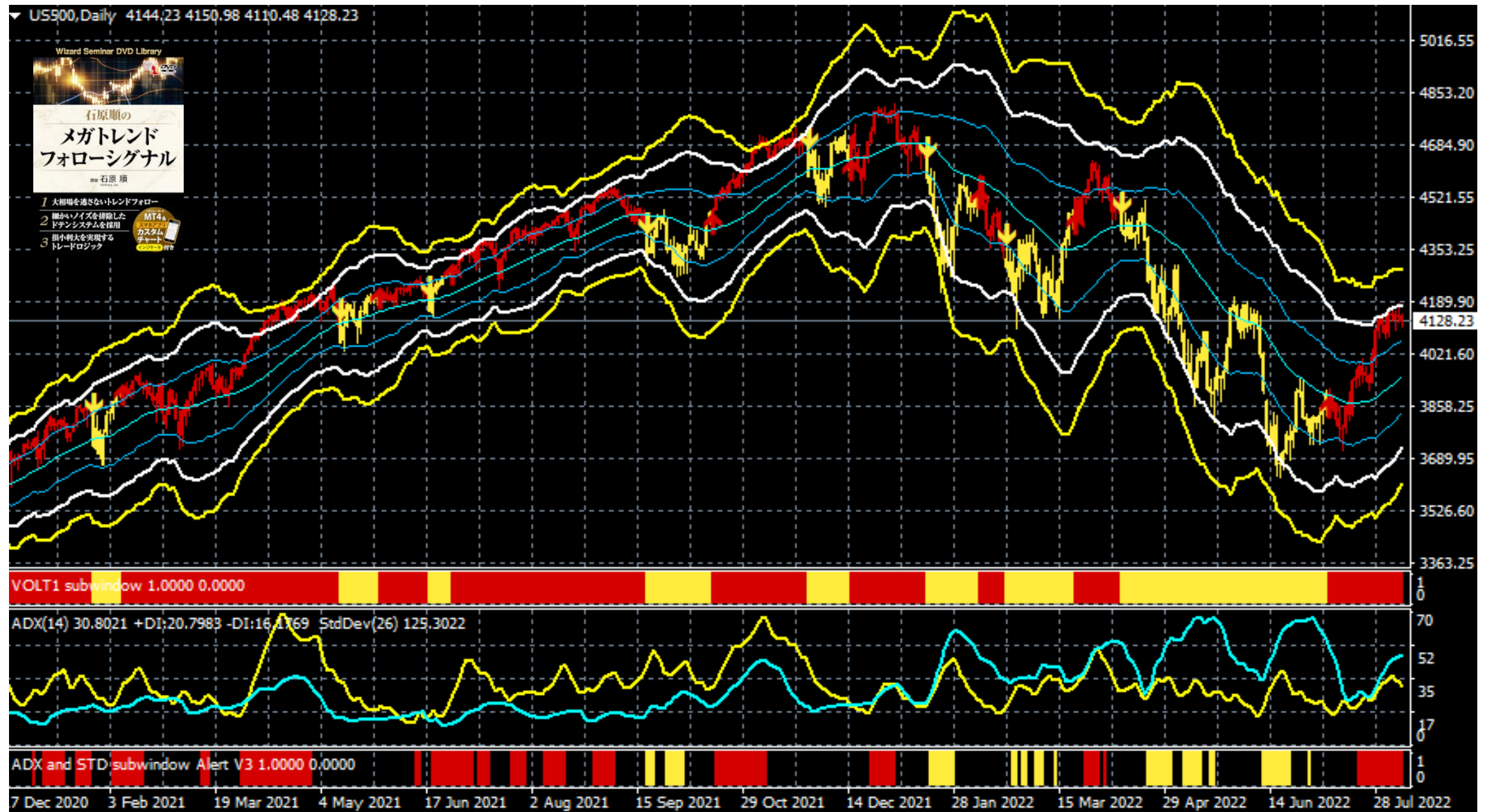
1

20



出所：ツイッター

S&P500CFD (日足)



出所：MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

インフレは減速するのか！？デフレ（日本化）パターンも・・・

マーク・ファバーは、「これから6カ月ほどでインフレ率が現在の約9%から減速すれば債券価格と株価の上昇に火をつける可能性がある。ただし、1976年以降の場合と同様、そこからインフレが再加速すれば、金融資産の保有者がかなり失望する可能性もある」と述べている。

バンクオブアメリカのマイケル・ハートネットは、FRBのピボット（転換）は2022年11月に行われると予測している。元ニューヨーク連銀のアナリストであるマーク・カバナも、予想よりもはるかに早くQTを終了すると予測している。もし、FRBが利上げやQTを早期に停止すれば、その後はインフレの第二波が到来するだろう。その見方が正しければ、現在の相場の反騰は、弱気相場の中での一時的な株高に過ぎないのではないかと思われる。

「1982年のボルカーの金融政策ピボットと2022年の来たるパウエルピボットの間には大きな違いがあります。ボルカーはインフレとの戦いで勝利を収めました。パウエルは敗北でピボットします。この違いを理解していない投資家は大きな損失を被ることになります」（ピーター・シフ）

米国のCPI（赤）とFFレート（青）

6月の最新の年間インフレ率は9.1%と、依然としてFRBの目標値2%をはるかに上回っている



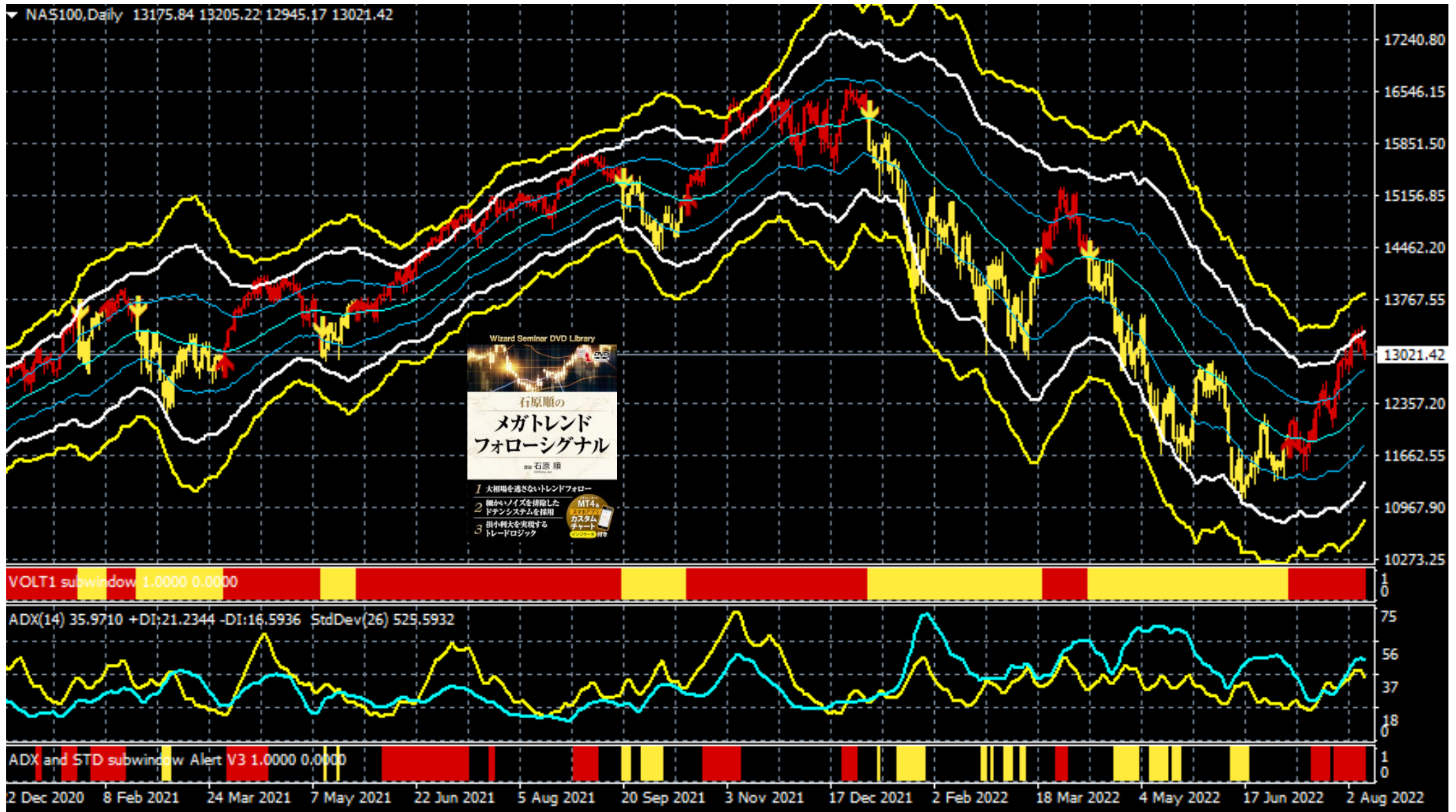
出所：セントルイス連銀

米国の利上げとバブルの崩壊 (FF VS GT10)



出所：セントルイス連銀

ナスダック100CFD (日足)

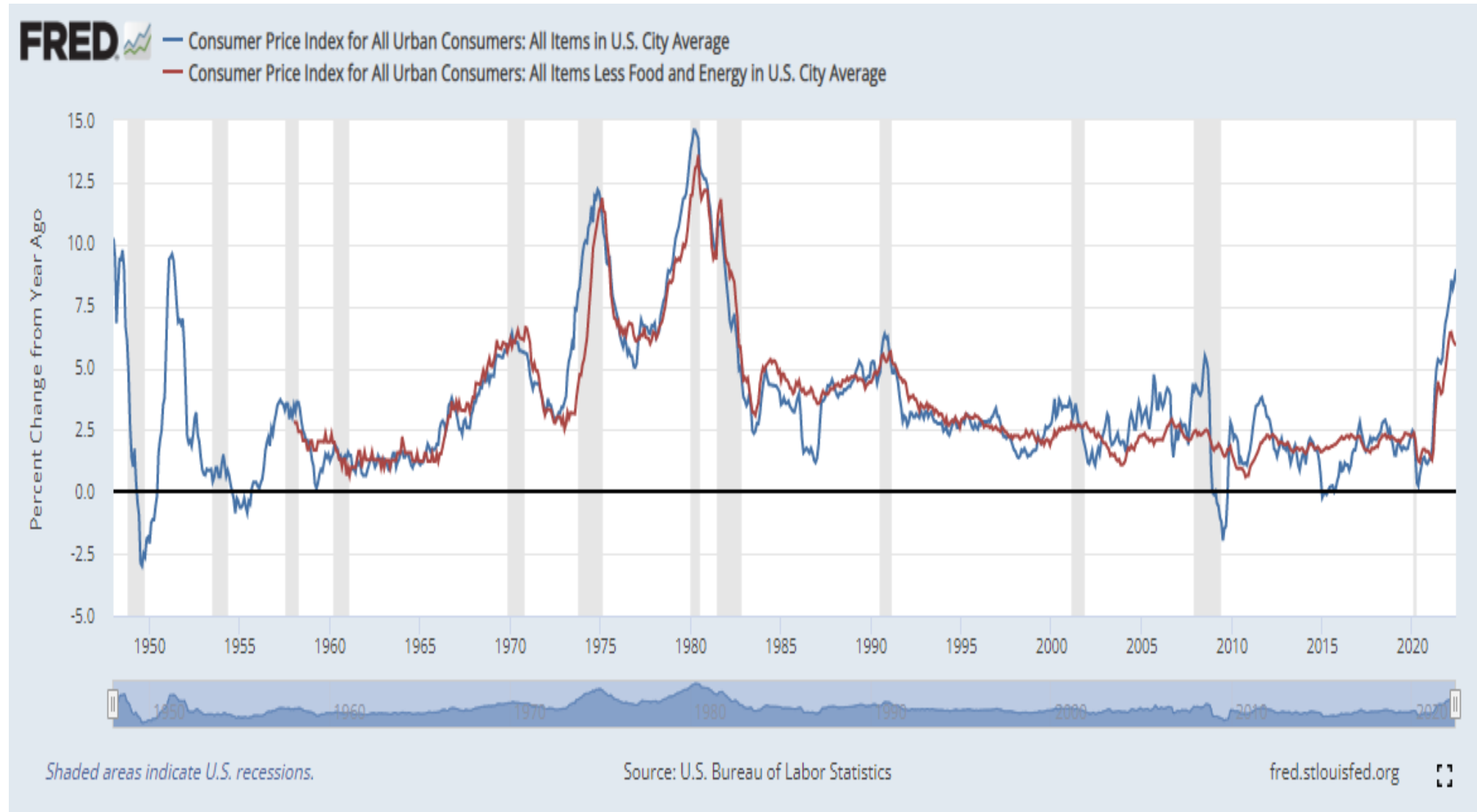


出所：MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

ナスダック総合指数（1998年～2003年）のバブル崩壊パターン



インフレは1波で終わらない！？70年代のインフレは3つの波で構成されている！



出所：セントルイス連銀